

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				
こども発達支援coconone		2026年3月1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		グループは少人数になるようにしたり、個別支援を複数同時に行うときにはお部屋を分けるなどの工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		加配を1名配置しております。また、医療的ケアが必要なお子様が通所される際には看護師も配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		スロープや車椅子でも使用可能なトイレと手洗い場を用意しています。また、全てのお部屋の室温が一定になる換気システムを導入しており、夏も冬も快適に過ごすことができます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃を毎日行っております。活動に合わせて環境を設定することで、活動に集中しやすく安全な環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		何も置いていない個室も用意しており、必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎朝、全ての正職員で打ち合わせを行っており、必要な改善点等があった場合には対策を含めて共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向けアンケートを年1回実施しています。また、親子通所のため、気になる点については都度教えていただき、改善を図っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期面談を設けており、職員の意向を確認するとともに事業所の方向性もお伝えし、改善に向けた対応を共有しています。また、日常においても互いに声をかけあい、課題等の改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は実施していませんが、見学者を積極的に受け入れ、外部からの視点をもたらすなど開かれた場所になるようにしています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職場内での研修を実施しています。また外部研修については案内を共有したり、研修動画については勤務時間内で視聴してもらうなど自己学習できるようにしています。	次年度については、1人1回以上外部研修に参加できるよう検討しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		COPMやGMFM、ROM、KIDS等、お子様の状況に合わせて客観的評価ツールを使用し、計画立案に活かしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援後に行う振り返りの中で、お子様の興味や成長等の変化や関係機関の様子などを共有し、計画の立案に活かしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		担当以外も計画書を確認したり、また支援が始まる前に目標を職員で確認するなどして、計画書に沿った支援になるようにしています。	支援に計画書の内容をより活かせる仕組みづくりについて検討していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		本人とご家族の願いに基づき、各項目での目標および支援内容を設定しております。また、目標については可能な限り、具体的に、達成の有無を明確にできるようにしています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	グループは保育士と理学療法士で立案しています。個別は担当が立案していますが、必要に応じて他の職員に相談しながら立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	お子様の興味や発達、季節等を考慮しつつ、静的活動と動的活動を組み合わせるようにしています。プログラムを固定することで見通しが立ち、安心して参加できるお子様にはプログラムを固定させる等、状況に合わせて対応しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	基本的にSOAPIに基づいて記録し、支援の改善に活かしています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>	利用者様の意向に応じて支援を実施しており、限られた支援時間の中で、特にニーズが高いものに対し重点的に実施しております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>	いくつかの活動を提示した上で選択してもらうようにしています。グループの活動内容が決まっている際にも、お子様の気持ちに寄り添いながら、主体的な活動を保障しています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	必要に応じて、可能な範囲で連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	親子通所のため、基本的には保護者様を介して情報を共有していますが、必要に応じて直接連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		現時点では、就学したばかりのお子様がいなため、幼児期に通われていた施設との連携はありませんが、今後就学した際には連携を図っていく予定です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		現時点では、18歳を超えたお子様がおりませんが、今後18歳を超えてライフステージを移行する場合には連携を図っていく予定です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	当事業所は、肢体不自由児が主な通所児童のため「さんりんしゃ」さんに相談するケースはなかったのですが、必要に応じて「こどもつくる」さんと連携し、情報を共有したり、助言をいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		当事業所は、運動発達に関する専門的な支援を実施しているため、地域での交流機会は少ない状況です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	可能な範囲で参加しています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	親子通所のため、通所の都度、体調や家庭および学校での様子を共有するとともに、支援のねらいやお子様の変化についても共有しています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	ペアトレは実施していませんが、親子通所のため、支援の都度、関わり方や必要な情報については情報提供をしています。	家族で参加できる研修や機会を検討しています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		お子様本人と保護者様の意向をCOPMをもちいて確認し、半年後には支援の結果、どのように変化したのかをCOPMで再評価してもらっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		親子通所のため、通所の都度、家庭での様子等を確認しております。また、相談があった際には、相談内容に応じて適切な職員が対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	グループ支援時には保護者同士が交流しやすいように配慮しています。	来年度は、保護者交流会やきょうだい支援についての企画を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		体制を整えており、ご意見をいただいた段階で、迅速かつ真摯に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		<input type="radio"/>	通信等は発行していませんが、準備が必要な活動の事前の連絡等の事業所からの連絡については、SNS等を活用し、共有しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて絵カードでの提示を行っています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		当事業所は、運動発達に関する専門的な支援を中心に実施しており、かつ事業所の所在地近郊に住んでいる利用者の割合は少ないため、地域住民との交流機会は少ない状況です。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルは策定しています。防犯訓練等、一部まだ実施していない訓練については3月末までには実施予定です。	来年度は、利用者様のご理解を得た上で、利用者様のいる時間帯に発生を想定した訓練をいくつか実施できるよう準備する予定です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			同上
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>	食事支援やおやつ提供などはしていません。また、親子通所のため口にするものについては保護者様に管理してもらっています。遊びの材料として食物を使用する場合には、アレルギーに関するアンケートを確認するとともに事前に保護者様にも確認をとった上で実施しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		<input type="radio"/>		マニュアルを設置していますが、周知については不十分のため、今後対応していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事案が発生した時には、当日中に職員間で共有し、対策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止委員会として動画の視聴等により研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>				